

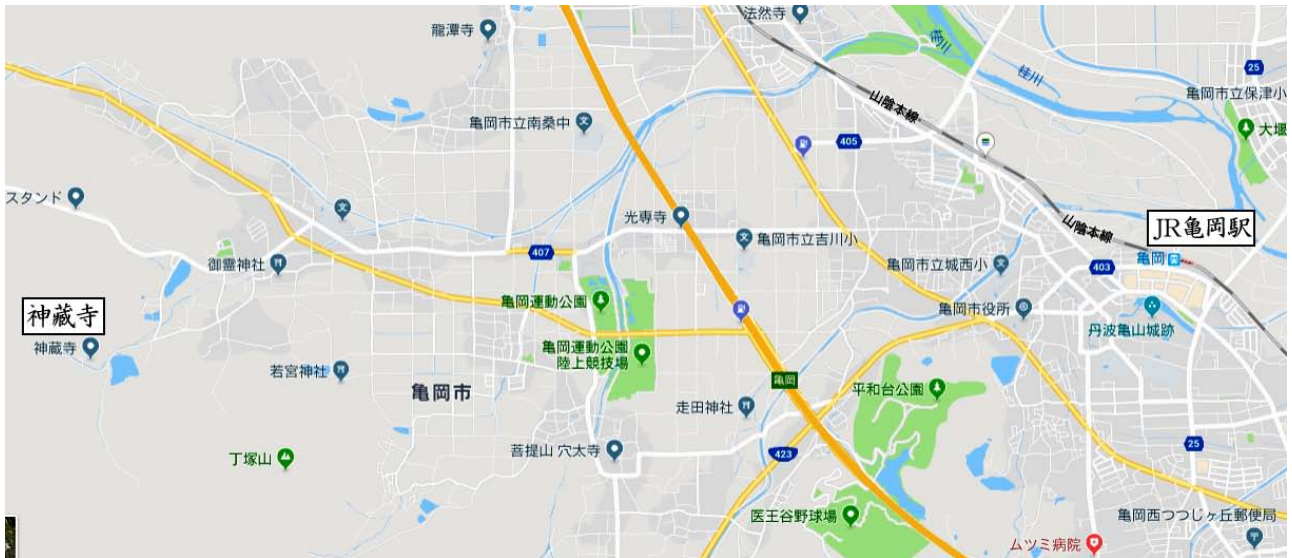
臨濟宗妙心寺派 西国薬師霊場第43番

朝日山神藏寺

ひえ田野町佐伯岩谷ノ内院ノ芝 60

0771-23-5537

拝観時間 9時から 17時



・延暦九年(790)

伝教大師最澄により天台の道場として開創

・治承四年(1180)

源頼政の挙兵のさい、三井寺(園城寺)の挙兵に参加、敗戦により、平氏により所領没収されて堂宇は荒廃

・嘉禎元年(1235)

天台宗達玄僧都により僧舎を再建。女人禁制を解き、再び丹波随一の名刹に復元。応永年間(1390~1420)には室町幕府の管領、細川頼元の補修を受けてより隆盛をほこる

・天正3年(1575)

明智光秀の丹波平定ために兵燹に罹り一字を残さず焼亡。ご本尊は山中に隠され難を逃れる。

・承応2年(1653)

浄土宗光明寺派の願西法師が本堂及び阿弥陀堂、鐘楼を再建。

・延宝7年(1679)

亀山城主松平伊賀守忠昭が臨濟宗妙心寺派の高僧高隠玄厚を請じ中興、依頼継承されて今日に至る。



本尊薬師如来坐像

像高 95.7 cm 一木割矧造、表面は漆箔仕上げ
平安時代後期の定朝様に則った温雅な作風
を示し、かなり伏し目が強いことや肩の輪郭
が大きな曲線を描く撫で肩であること、膝の
厚みが薄いことなどから 12 世紀の制作と
考えられます。

イロハモミジ

樹齢約 400 年、高さ 13m
亀岡の名木百選にもえらばれ
秋にはライトアップも行われます。



山野草の寺としてもゆうめいになり
様々な草花を見ることができます。